

医療事故・紛争対応研究会 第11回 年次カンファレンス

平成29年3月3日(金)13:30～17:45、3月4日(土)9:20～16:30

※3日(金)は会員を対象とし、4日(土)は会員および一般の方を対象としています。

はまぎんホールヴィアマーレ (横浜市西区みなとみらい3-1-1横浜銀行本店ビル1階)

1日目 3月3日(金)：会員を対象(当日入会者もご参加いただけます(会員年会費：3,000円))

講演・教育セミナー (13:30~16:00)

座長 日本赤十字社 九州ブロック血液センター 所長 入田和男

1. 訴訟を経験した医師からみた、医療訴訟の実態と課題 国立病院機構 徳島病院 病院長 田中信一郎
2. 臨床倫理：生命維持治療の差控え・中止と法・倫理 慶應義塾大学大学院 教授 前田正一

会員報告 (16:15~17:55)

1. 当院における、看護師の医師ICへの関わりを増やすための取り組み 富山県済生会富山病院泌尿器科 風間泰蔵
2. 有害事象対応とコミュニケーション：2016年5月に米国保健省によって公開されたツール【CANDOR (communication and optimal resolution)】の分析 慶應義塾大学 石塚 彩ほか
3. 日米の事前指示関連法における事前指示の適用要件の分析 日本医師会総合政策研究機構 田中美穂ほか
4. 臨床倫理コンサルタント：米国生命倫理学会における認定制度の紹介 慶應義塾大学 及川正範ほか
5. 臍帯血の取り扱いに関する規制についての論点整理 慶應義塾大学 川辺賢一郎ほか

2日目 3月4日(土)：会員および一般の方を対象

講演：検証—予期しない死亡・死産に対する事故調査制度 (9:30~12:00)

座長 日本赤十字社 九州ブロック血液センター 所長 入田和男

1. 新制度の概要・運用の実態と課題：一年半が経過して 北海道大学病院 医療安全管理部長 南須原康行
2. 医療安全管理者・他施設の事故調査委員としてみえてきた課題と今後のあり方 東北大学病院医療安全管理部 特命教授 藤盛啓成
3. 支援団体としてみえてきた課題と今後のあり方 兵庫県医師会医療安全対策常任委員会 伊藤進一

教育セッション：インフォームド・コンセント (13:00~16:15)

司会 慶應義塾大学大学院 教授 前田正一

1. インフォームド・コンセントとその要件
神戸大学大学院 教授 丸山英二
(1) インフォームド・コンセントの要件
(2) 患者が判断能力を欠く場合の対応
①代諾者：患者が成人の場合と、未成年・精神障がい者等の場合の代諾権者に関する議論
②代諾者は、患者になされる医療行為について、どのような判断をするべきか
③小児医療における代諾と、両親の意向が異なる場合の対応
2. 関連する最高裁判決の分析とその射程
弁護士 池田守
(1) 未確立な医療と医師の説明義務
(2) チーム医療における総責任者の義務
(3) 熟慮の機会の確保
3. インフォームド・コンセントおよび説明同意文書に関する現場対応
静岡県立静岡がんセンター 部長 坪佐恭宏
(1) 改善に向けた取り組みの実際
(2) 医療現場での課題
(3) 特定機能病院の承認要件の変更とインフォームド・コンセントの今後
4. (補足)インフォームド・コンセントおよび説明同意文書の実態

◆申込方法：当研究会のホームページよりお申込みください (<http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/>)

◆対象職種：医師・看護師・薬剤師・医療技術者・事務職員・医療安全管理者など

◆参加費：事前申込(事前支払)6,000円(研究会会員5,000円)

当日申込(事前申込者のうち、参加費の未納者を含む)8,000円(研究会会員7,000円)

※ご入金後の返金は致しかねますので、あらかじめご了承ください

◆事前申込締切：平成29年2月22日(水)

◆問合せ先：FAX；020-4664-1995 E-mail；infosmcm-group@umin.ac.jp (問い合わせ専用)

会員の方は、両日参加いただけますが、一般の方は2日目のみの参加となります